

市町村名	多良間村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	美化緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	<p>快適な観光地を形成するために、観光関連施設や周辺道路の美化・緑化を行う。</p> <p>【実施箇所】 ・観光関連施設及びアクセス道路(農村公園・ふるさと海浜公園・八重山遠見台・前泊地区東屋等・三ツ瀬公園・宮古市の森公園・村営GG場・テニスコート周辺・多目的広場)</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		6,742	6,457	7,613	8,136	9,252
			4,308	2,782	4,525	4,626	8,360
			▲ 2,434	▲ 3,675	▲ 3,088	▲ 3,510	▲ 892
	B. 執行済額 うち交付金充当額		4,308	2,782	3118	2,732	8,360
			3,446	2,225	2,494	2,185	6,688
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	68.9%	59.1%	100.0%
		予算の状況の説明	当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。 892千円の減額は入札残である。				
活動目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	目標	(美化・緑化の実施)	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施
		実績	美化・緑化の実施	公園9箇所の美化・緑化の実施	公園9箇所の美化・緑化の実施	公園9箇所の美化・緑化の実施	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
	達成状況説明	・今年度より業務委託し、公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化業務を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		76%	88%	80%	
	【参考指標】 観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施。農村公園、ふるさと海浜公園八重山遠見台、ミツン公園等9箇所	目標	()	(9カ所)	(9カ所)	(9カ所)	()
		実績		9カ所	9カ所	9カ所	
	進捗状況説明	・今年度より業務委託し、公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるかの満足度調査においては、1月から3月迄の期間、空港、夢パティオたらま、地域振興拠点施設、港の4カ所で満足度調査を実施した結果、満足した人が80%となり、目標を達成する事ができた。					

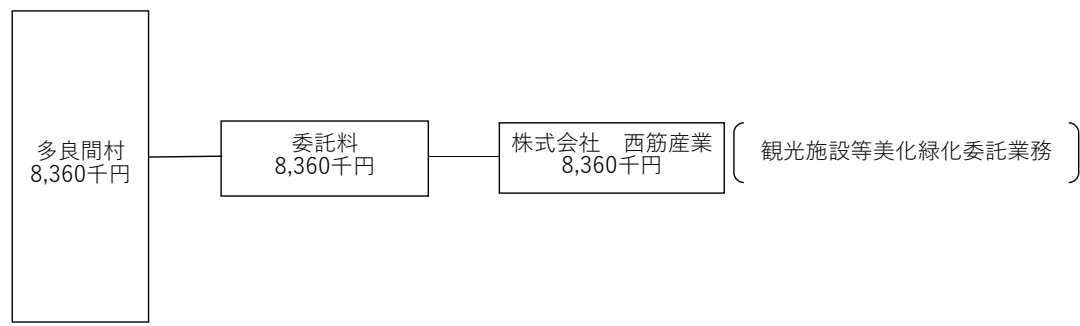
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・前年度は、作業員の不足により年間を通して美化・緑化の行き届いた施設の提供が行えなかったが業務委託することで、固定した作業員が公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の細箇所等の除草、枝打ち作業も定期的実施、台風後の観光関連施設及びアクセス道路周辺の片付け作業等もスムーズに行え、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。課題として、公園8箇所に設置されているトイレ・シャワー室の建物等の老朽化が進み修繕箇所が見られる。</p>	<p>・目標としている満足度80%以上の達成率の継続。年間を通して観光関連施設や周辺道路の美化緑化を図り、満足度調べで検証していく。 ・公園8箇所に設置されたトイレ・シャワー室等の改善箇所の修繕を行う。</p>

今後の取り組み方針

・今年度より業務委託し、公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。
 ・20%の満足が得られていない課題については観光関連施設やアクセス道路以外の村道、農道等のゴミのポイ捨て、雑草の繁殖等も原因と考えられることから、他部署と作業期間等の調整を行い連携して村全体の美しい景観が保てるよう検証していきたい。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,360	8,360	6,688	1,672	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額なく、適正な予算規模と考えられる。 ○費用・用途については、実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	優良繁殖雌牛導入支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成27年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	生産農家が経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。優良繁殖雌牛を導入する際に購入価格の1/2以内で最高40万円までを支援することにより、母牛の改良を推進する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,500	7,500	8,000	12,000	8,000
		(b) 予算現額	4,500	8,000	8,000	12,000	8,000
		(c) 増減額(b-a)	0	500	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	4,500	8,000	8,000	12,000	8,000
	B. 執行済額		1,800	6653	7814	11,939	7,929
	うち交付金充当額		1,440	5322	6251	9,551	6,342
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		40.0%	83.2%	97.7%	99.5%	99.1%
予算の状況の説明		今年度の導入は、20頭予定の20頭が導入されており、不用額の71千円は補助額上限の40万円に満たない個体があったものによる。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	優良繁殖雌牛の導入頭数:20頭		目標 (20頭)	(20頭)	(30頭)	(20頭)	
			実績	6頭	17頭	30頭	20頭
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	今年度の導入は、20頭予定の20頭が導入されており、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合121.6%		目標 ()	()	()	(121.6%)	()
			実績		131.5%	120.6%	113.3%
	【参考指標】優良繁殖雌牛導入の支援完了頭数:20頭		目標 ()	(支援(20頭)の完了)	(支援(30頭)の完了)	(支援(20頭)の完了)	()
			実績		支援(20頭)の完了	支援(30頭)の完了	支援(20頭)の完了
進捗状況説明	令和元年度の優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合113.3%となり、目標より減少した。						

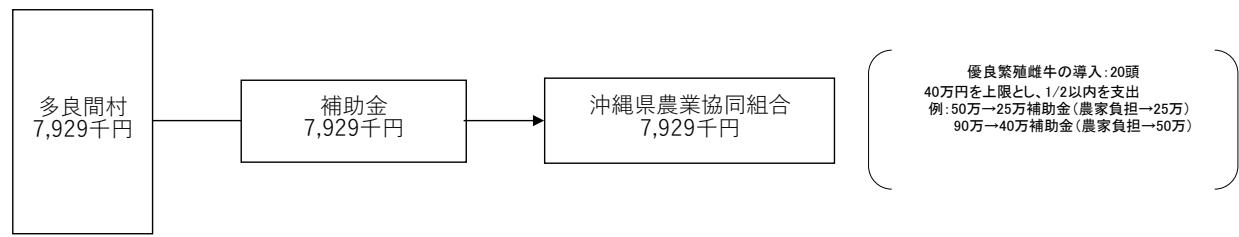
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	頭数目標達成は出来たが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によってセリ価格が下落し価格差も減少したものと考えられる。また、県内平均子牛価格を下回っており継続していく必要がある。	新型コロナウイルスの影響によるセリ価格の下落においても価格差は現れている事から継続していく必要がある。また、系統の情報共有等を行い、優良種の種付けを進めて行く必要がある。

今後の取り組み方針

和牛改良組合等の関係機関と連携し優良種雄牛の種付けの推奨等を行っていく。また、畜産農家高齢化が進んでいるが、本事業にて継続的に支援し続ける事で担い手や新規就農者の確保を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
24,141	7,929	6,342	1,587	16,212



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○農業協同組合は県内外での導入実績があり、妥当だと判断 ○飼養頭数の3%で年間時価保留頭数の1/3程度なので規模は適正 ○負担割合は1/2以内としており事業内容から判断しても妥当と考える ○費目・用途については、補助金支出時に検査を実施しており事業目的に必要な支出と判断
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	児童生徒島外教育諸活動助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒の意識の高揚、スポーツの技術力向上等、未来を拓く子どもたちの能力向上を図る。島外で実施される各種大会へ児童生徒を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		5,164	4,725	3,071	5,455	3,632
			3,948	4,725	5,603	3,857	1,805
			▲1,216	0	2,532	▲1,598	▲1,827
			-				
		B. 執行済額	2552	3522	5571	3,773	953
		うち交付金充当額	2041	2817	4457	3,018	762
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	64.6%	74.5%	99.4%	97.8%	52.8%
		予算の状況の説明	当初予算で3,632千円を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、各大会の中止が相次ぎ、1,827千円減額したが、減額後も大会中止があり、852千円の不用額が発生した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	島外で開催される教育諸活動に参加することで、離島の小規模校ではできない他地域との交流や実戦をとおし、精神面の鍛錬・スポーツの技術力向上等が図られる。	目標	(派遣実施)	(派遣実施)	(派遣実施)	(派遣実施)	
		実績	派遣実施	派遣実施	派遣実施	派遣実施	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	大会6回、派遣延人数(教諭含む)60人を派遣。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんどの大会が中止となったが、派遣を希望する大会へは交通費及び宿泊費の助成が実施できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		89.70%	97%	55%	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
進捗状況説明	今年度のアンケートは、小学校が大会中止となったため、中学校の生徒・教諭へのアンケートの実施のみとなった。アンケートの結果から意識の向上につながったとの回答が55%で成果目標を達成することができなかった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会の延期・中止等があり、生徒の意欲の低下が見られる。						

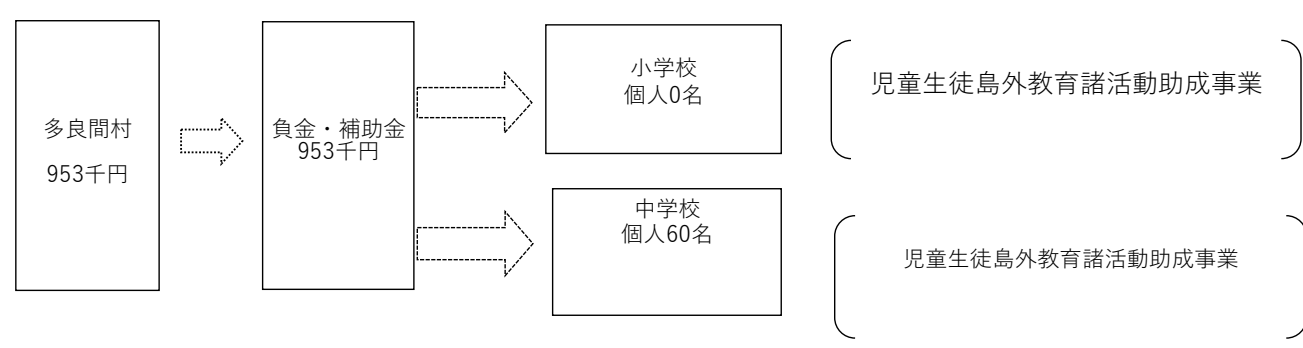
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、大会の中止・無観客大会・応援の制限等、十分な環境での大会に臨めなかったことが、児童生徒の意識向上の低下につながっている。</p> <p>一村一校の小規模校で少人数の環境にいる児童生徒にとっては、「大会」が視野を広げ意識向上を高める機会でもあり、能力を開花させる場所でもあり、精神鍛錬につながる場でもあるので、島外派遣教育は必要である。地区大会・県大会で競う選手との違いや課題を見つけ今後も各種大会に派遣し、児童生徒の意識向上を図るためには継続支援が必要である。</p>	<p>児童生徒の大会への参加を支援していくためには、新型コロナウイルス感染症対策の強化を図りながら大会へ派遣する。</p> <p>県内の状況を踏まえ、文化的な大会等は学校と主催者側が連携を図りながらできるかぎりオンライン参加にしていこう。</p> <p>地区大会・県大会を通して、競う選手との違いや課題を見つけることで意識の向上につなげていく。</p>

今後の取り組み方針

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、今後の大会等も対策予防をしながらの参加となり得る可能性も大きい。多良間村は、まだ1件も新型コロナウイルスの発症者がいないことから、「持ち込まない・持ち込ませない」を徹底し、大会派遣後のPCR検査の実施をしていく。また、大会派遣による交通費・宿泊費等の支援をしていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
953	953	762	191	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・小体連、中体連、引率者の派遣事業等に限定しているため、支出先の選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者負担として、補助金上限額を超える分は負担してもらっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、精算段階で、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	多良間村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	学力向上推進ALT活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	国際化社会に対応できる児童生徒の学力向上を図るため、ALTを招聘し国際感覚を養いながら児童生徒の英語力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	788	788	788	788	788
		(b) 予算現額	788	788	788	788	788
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	788	788	788	788	788
		B. 執行済額	784	787	787	744	768
		うち交付金充当額	627	629	629	595	614
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.5%	99.9%	99.9%	94.4%	97.5%
予算の状況の説明	当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	外国語指導助手(ALT)招聘年間20回	目標	(20回の招聘)	(20回の招聘)	(20回の招聘)	(20回の招聘)	
		実績	20回の招聘	20回の招聘	20回の招聘	20回の招聘	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	外国語指導助手(ALT)を年間20回招聘し活用することにより、外国語活動や英語の時間を通して英語に対する興味・関心を喚起し、また、学校生活の様々な場面における交流や触れ合いの中で異文化にたいする理解を深めることにより、国際社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力向上に繋げることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		81%	83%	86%	
	・中学校 英検4級の保有割合:30%以上	目標	()	()	()	(30%)	()
		実績		31%	33%	41%	
進捗状況説明	小学5・6年生を対象にアンケート調査を行った結果、86%が「英語に対する興味・関心が高まった」と回答し、目標を達成した。 中学校生徒の英検4級の保有割合が41%となり、目標を達成した。						

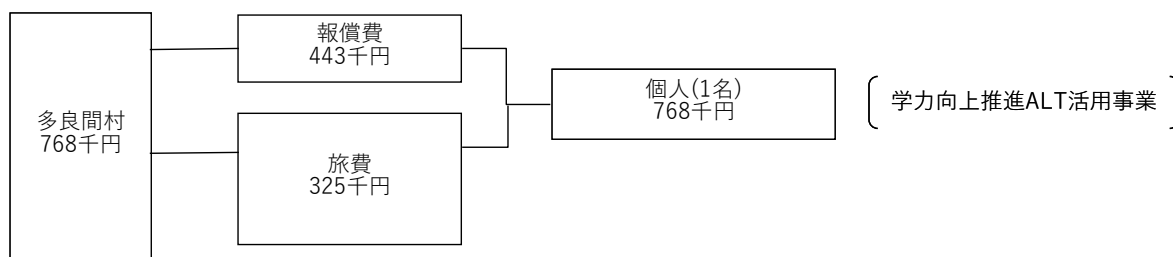
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 英語に対する興味・関心及びコミュニケーション能力に格差がみられる。 児童生徒間の英語力に二極化があり、外国語活動や英語の授業において難しいと感じる児童生徒が未だにいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語に対する興味・関心を高めてもらうため、これまでの事業内容を振り返り、授業内容の工夫・改善やALTの資質向上を図り、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くこと・話すことを中心とした外国語の基礎・基本を身に付けさせ、格差解消を図る。 小学校及び中学校の英語の授業以外でも行われている「グループ学習」・「ペア学習」を取り入れ、習熟度別で実践することで、小学校では、英語の音声と文字との関係を学ぶ指導を充実させ、中学校では、新たに文字を扱うことによる「文字への抵抗感」をなくすような授業カリキュラムを推し進め、二極化の解消を図る。

今後の取り組み方針

- 外国語指導助手(ALT)を活用して国際社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。
- 外国語指導助手(ALT)の学校現場でのより効果的な活用について検討を進め、外国語指導助手(ALT)の資質向上を図る。
- 小学校及び中学校において、クラスを習熟度別にグループ分けし、その中で「グループ学習」・「ペア学習」を推進することで、児童生徒に『分かる、できる喜び』を体感してもらうとともに、資質能力の育成を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
768	768	614	154	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)は、調査及び考慮の上選定しており、妥当であると考え。 ○不用額はなく、適正な規模と考える。 ○費目・使途は予定通りで、目的に即した適正なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	村営学習塾開設事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施 (予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学力向上、高校受験対策の一環として児童生徒の学習をきめ細かに支援するため、村営の学習塾を開設する。その中で、学習支援員を配置することにより、多良間村に在学する小学3年生から中学3年生を対象に国語・算数(数学)・英語を中心とした学校外学習支援を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		16,362	15,012	15,100	15,100	15,100
			16,362	15,012	15,100	14,879	12,526
			0	0	0	▲ 221	▲ 2,574
			16,362	15,012	15,100	14,879	12,526
		B. 執行済額	15,012	15,012	15,012	14,879	9,261
		うち交付金充当額	12,009	12,009	12,009	11,902	7,409
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	91.7%	100.0%	99.4%	100.0%	73.9%
		予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月、5月とも来島禁止の状態であったため、入札・契約締結を緩和された6月に延長。そのため、事業実施ができなかった4月、5月の2ヶ月分は不用となり、2,574千円減額したが、入札残等もあり執行率は73.9%となった。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	村営学習塾の開設	目標	(開 設)	(開 設)	(開 設)	(開 設)	
		実績	開 設	開 設	開 設	開 設	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	村営学習塾を開設して、効果的に学習できる環境を整えるとともに、学校外学習支援を強化すること、学びたいと希望を持つ児童生徒を受け入れることで児童生徒の学力向上と他地域との格差縮小に繋がった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数)-5ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語)-6ポイント以上	目標	()	(小学校-8P以上/中学校-13P以上)	(小学校-8P以上/中学校-13P以上)	(小学校-5P以上/中学校-6P以上)	()
		実績		小学校-4.2P/中学校+4.0P	小学校-5.2P/中学校+5.7P	小学校-4.8P/中学校-2.2P	
	【参考指標】 高等学校入学者選抜学力検査全員合格	目標	()	(受験生全員合格)	(受験生全員合格)	(受験生全員合格)	()
		実績		受験生全員合格	受験生全員合格	受験生全員合格	
	進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差については、小学校(目標:-5P以上 実績:-4.8P)中学校(目標-6P以上 実績:-2.2P)となり、目標を達成した。					

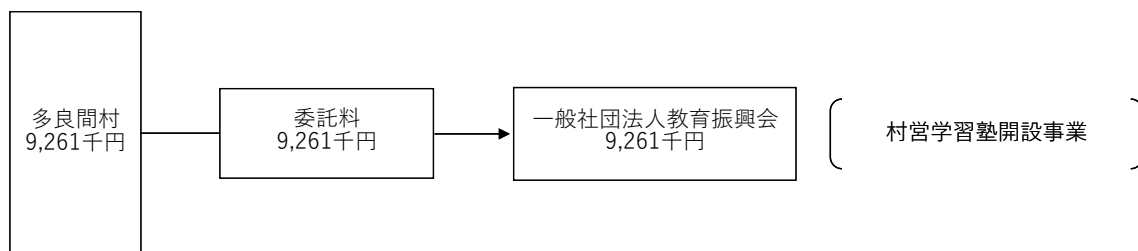
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 部活動や学校行事の関係で、出席率が悪かったため改善策を検討する必要がある。 均一的な授業だけでなく、学力に応じた授業カリキュラムを検討し、全体の底上げを図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 村営学習塾の開講日程について、学校側に理解・考慮してもらうことで、学校行事の時間調整や部活動の時間短縮の調整が進み、出席率アップのための改善が図られている。 学力の着実な定着を図るとともに、基礎学力・基礎的基本的事項の修得(特に国語・算数・数学・英語)定着・向上に繋げるため習熟度別のクラス編制を行い、全ての児童生徒の個々の学習ニーズ及び学力に応じた教科書を使用することで、学力向上推進を図る。

今後の取り組み方針

・村営学習塾の出席率向上に向けて、毎週火・水・木に行われる塾の授業を優先してもらうよう、学校側に働きかける。
 ・塾におけるそれぞれの学力に応じた授業カリキュラムの推進を図ることで、学校外教育の場での学習支援を通して、高等学校入学選抜学力検査全員合格、沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差の格差縮小を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,261	9,261	7,409	1,852	0



資金の流 れ、 点 検、 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。 ○不用額はなく、予算規模は適正な規模と考える。 ○教材費は受益者に負担してもらっており妥当である。 ○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	多良間中学校グラウンド全天候型改修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成29~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	雨天後のグラウンドの環境の悪化による大会の中止等をなくすため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修し、児童生徒や村民等の体育環境を改善する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,743	133,368	118,932	174,807	
		(b)予算現額	4,752	19,919	112,076	170,929	
		(c)増減額(b-a)	▲991	▲113,449	▲6,856	▲3,878	
		(d)繰越額	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	4,752	19,919	112,076	170,929	
	B.執行済額		4752	19,861	110,888	170,929	
	うち交付金充当額		3801	15,888	88,710	136,743	
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.7%	98.9%	100.0%	
予算の状況の説明		入札残と特別調査費を単費で実施したため、工事費と委託料合計3,878千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	施設整備工事の実施	目標	(実施設計の作成)	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施)	
		実績	実施設計の作成	施設整備工事の実施	施設整備工事の実施	施設整備工事の実施	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		今年度計画していた施設整備工事が完了がし、目標を達成できた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	整備工事の完了	目標	実地設計の作成完了	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施)	
		実績	実施設計の作成完了	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施)	(施設整備工事の実施)	
	【R3成果目標】 村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止、日程変更等の回数0回		目標	()	()	()	()
			実績				0回
進捗状況説明		今年度計画していた施設整備工事が完了がし最終年度の目標を達成できた。					

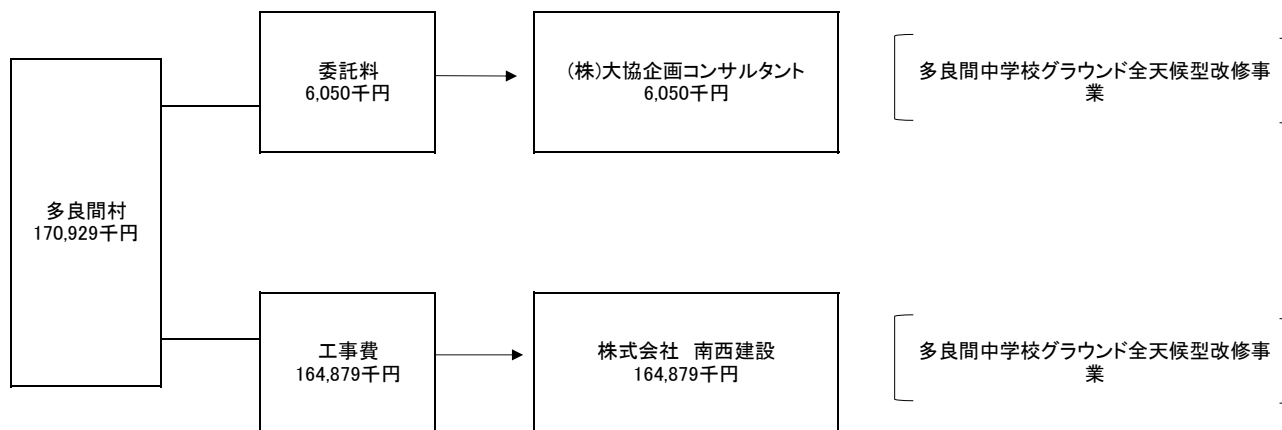
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>工事に係る資材等の価格が当初の想定よりも高額であることがわかり、全体事業費が増加したため、複数年度での工事の実施となった。今年度は最終年度となり完成することができた。</p> <p>グラウンドの整備は完了したが、今回整備外であった外周のウォーキングコースにてこぼこがあり、日ごろ一人で行える体育活動としてのウォーキングを行う上で快適な環境ではない。</p>	<p>工事を複数年度に分割し、今年度はグラウンドの完成となった。</p> <p>今後外周のウォーキングコースのでこぼこを解消し、村民の安全な利用に繋げる。</p>

今後の取り組み方針

今年度は最終年度となり、予定通り事業完了ができた。
 今後は、外周のウォーキングコースの整備が行いグラウンドではチームスポーツ、日ごろはウォーキングなどシーンにより使い分け、を村民の体育環境をよりよく改善し、村民の健康増進につなげていく必要がある。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
170,929	170,929	136,743	34,186	0



資金の用途の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で剪定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名		多良間村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤		多良間村就業意識向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ	
	担当部課名	多良間村教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度		平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容		<p>小学6年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」を実施する。 中学1年生を対象に、多良間村、宮古島市を中心に「中学生多良間村課題解決プログラム」を実施する。 中学2年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「職場体験(体験型キャリア教育)」を実施する。</p>					Ⅲ-3-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,075	7,500	8,500		
		(b) 予算現額	7,075	7,336	8,500		
		(c) 増減額(b-a)	0	▲164	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計(b+d)	7,075	7,336	8,500		
	B. 執行済額		7,020	7,335	8,168		
	うち交付金充当額		5,616	5,868	6,534		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.2%	100.0%	96.1%		
予算の状況の説明		新型コロナウイルスの影響で一部オンライン方式での対応となったが、想定内の予算執行状況であった。なお、332千円の不用は入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	沖縄本島へ小学6年生(15名)、引率者(5名)	目標	(小学6年生(10名))	(小学6年生(10名))	(小学6年生(15名))	()	
		実績	小学6年生(10名)	小学6年生(10名)	小学6年生(15名)オンラインで各企業を訪問・視察		
	宮古島市へ中学1年生(10名)、引率者(5名)	目標	(中学1年生(12名))	(中学1年生(10名))	(中学1年生(10名))	()	
		実績	中学1年生(12名)	中学1年生(10名)	中学1年生(10名)		
沖縄本島へ中学2年生(8名)、引率者(5名)	目標	(中学2年生(12名))	(中学2年生(14名))	(中学2年生(8名))	()		
	実績	中学2年生(12名)	中学2年生(14名)	中学2年生(8名)			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学6年生(15名)、引率者(5名)、新型コロナウイルス感染拡大の影響で沖縄本島で行う予定のジョブシャドウイングが実施できなかったため、オンラインで各企業を訪問・視察の上、就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。 宮古島市へ中学1年生(10名)、引率者(5名)、沖縄本島へ中学2年生(8名)、引率者(5名)を派遣のうえ、就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		75%	79%	84%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートの結果、働くことへの興味・関心が湧いた児童生徒は、84%(小学校86%、中学校83%)となり、目標を達成した。					

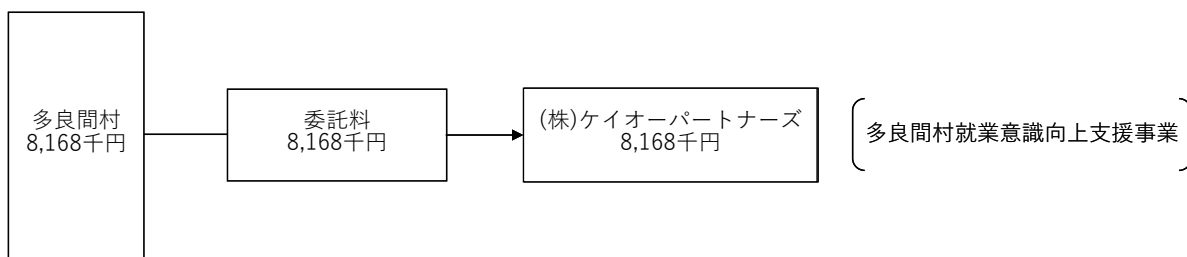
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・村内では、企業や職種が少なく、それにより興味・関心及び働くことへの意識が希薄であるということが挙げられるため、多くの職業があることを知る、職業の拡がりを知るといった「就業意識の芽生えを育む」取組の充実を図る必要がある。 ・地域に対する興味・関心が薄く、多良間村の現状と課題もわからない児童生徒がいるという現実があるため、その課題解決に向け、他者との対話を通して自身の考えを深め、広げる力をさらに向上させるため「学び・育ちの実感」の醸成を図る必要がある。 ・自分の将来像を明確に設計せず、島を旅立つ(15の旅立ち)生徒がいるという現状がまだにあるため、「自己肯定感、自己有用感を実感させる取組」・「社会や生活との繋がりを意識する取組」における継続的支援体制を整え、「15の旅立ち」に向けた資質・能力の育成を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「就業意識の芽生えを育む」面での課題に対する改善策として、小学6年生が実施する「ジョブシャドウイング」においては、在籍児童数にあわせた企業開拓を行い、企業への訪問体制を充実させることで、数多くの職種に興味・関心を持たせ、これまで以上に働くことへの意識付けを図る。 ・「学び・育ちの実感」面での課題に対する改善策として、中学1年生が実施する「中学生多良間村課題解決プログラム」においては、まず、島内での企業訪問を行った上で、島外(宮古島市)での企業訪問を実施することで、地域への愛着と誇りを持ってもらい、多良間村の現状と課題を知る中で、中学生なりに分析することにより、地域について興味・関心を深めてもらうためのキャリア教育の充実を図る。 ・「自己肯定感、自己有用感を実感させる取組」・「社会や生活との繋がりを意識する取組」面での課題に対する改善策として、中学2年生が実施する「職場体験」においては、まず、島内での職場体験を行った上で、沖縄本島(那覇市)を中心とした企業での職場体験を実施することで、村内にない業種や職種にふれ、村内の業種や職種との違いや共通項に気づき、村内外の産業や職業への理解を深めてもらい、将来の夢、生き方、進路等の選択に生かしてもらうための機会を増やし、さらなる就業意識の向上を図る。

今後の取り組み方針

・島外で様々な企業、職種があることを理解し、職業観及び勤労観の喜びを深めるために、幅広く取り組む必要があり、「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」、「中学生多良間村課題解決プログラム」、「職場体験(体験型キャリア教育)」を通して、社会人としての規律・礼儀・言葉づかいの大切さを知る機会、児童生徒に将来の生き方について考えさせ、進路の選択に生かせる機会とし、情操教育に繋げ、将来を担う児童生徒の育成に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,168	8,168	6,534	1,634	0



資金の流 れ、 点 検、 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額がほとんどなく、予算規模は適正な規模と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。

市町村名		多良間村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥	多良間村自然文化継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-1-(4)-ア	
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	多良間村の自然文化継承の保存のため、郷土資料の整理活用業務、自然図鑑の制作、方言副読本を制作する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		19,589	16,967	33,928		
			19,532	16,351	33,268		
			▲ 57	▲ 616	▲ 660		
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		19,532	16,351	33,267		
			15,625	13,080	26,613		
			0	0	0		
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%		
	予算の状況の説明	当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。なお、660千円の減額は入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	郷土資等の修復、公開及びシンポジウム開催	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実績	実施	実施	実施		
	自然図鑑の制作発行	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
実績		実施	実施	実施			
達成状況説明	郷土資等の修復、公開及びシンポジウム開催、自然図鑑を発行し活動目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 182人以上	目標	()	()	()	(182人以上)	()
		実績				121人	
	②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 651人以上	目標	()	()	()	(651人以上)	()
		実績				251人	
	③シンポジウム来場者数 60人以上	目標	()	()	()	(60人以上)	()
実績					41人		
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響による、村民へのステイホーム要請、観光客等の来島自粛要請等があり、ふるさと民俗学習館利用者は目標達成に至らなかった。また、シンポジウム来場者も人数制限をしておいたため41人と目標は達成出来なかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度優先順位を検討して決めたが、新たな資料の発見や修復に係る期間の変更により再検討する必要性が出てきた。その為優先順位を再検討し、所蔵資料の電子化等をさらに加速させ、電子化した資料を活用する。 ・完成自然図鑑の活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修復、電子化された所蔵資料の活用を検討し、展示方法や広報を工夫し利用者の促進を図る。 ・完成した自然図鑑を活用し総合学習や観光資料として活用し、郷土に誇りと愛情をもてる人材の育成の推進と観光資料の一助とする。

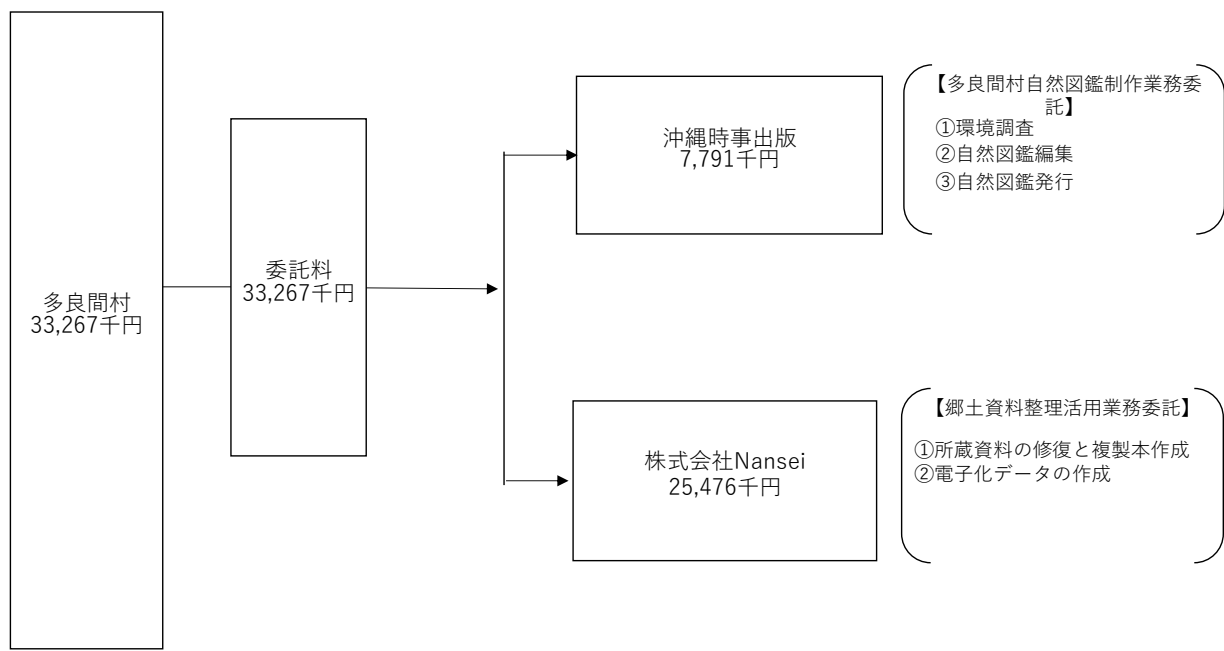
今後の取り組み方針

・所蔵資料の完成した現代語訳・解説版や図録を活用し、企画展示やシンポジウムの開催、WEB公開を行い多良間の歴史文化に興味を持った方々が多く訪れる観光スポット、地元の歴史を知る学習資料として活用する。

・完成した自然図鑑を教育現場での教具や、公共施設・観光各所で観光資料として活用することで多良間島の自然や方言を保存継承し、生涯学習として郷土に誇りと愛情をもてる人材の育成を推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
33,267	33,267	26,613	6,654	



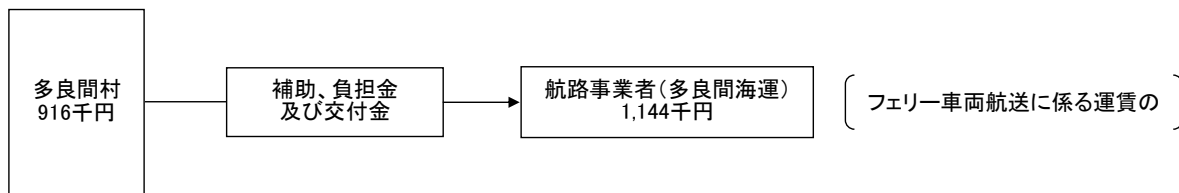
資金の流 点、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した

市町村名		多良間村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
	担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容		離島住民の利便性を確保するため、高額である多良間島⇄宮古島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,574	1,574	1,574	1,574	1,715
		(b) 予算現額	1,079	1,169	1,178	1,112	1,715
		(c) 増減額(b-a)	▲ 495	▲ 405	▲ 396	▲ 462	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		1,079	1,169	1,178	1,112	1,715
	B. 執行済額		932	952	965	916	1,144
	うち交付金充当額		745	761	772	733	915
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		86.4%	81.4%	81.9%	82.4%	66.7%
予算の状況の説明		実績と伸び率を踏まえて当初予算を計上したが、新型コロナの影響によるフェリー減便等のため、571千円不用が出て、執行率は66.7%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	宮古島⇄多良間島間の自動車航送コスト負担の軽減	目標	(軽減)	(軽減)	(軽減)	(軽減)	
		実績	軽減	軽減	軽減	軽減	
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	年間を通じて運賃補助を実施し、住民の宮古島⇄多良間島間の自動車航送コスト負担を軽減できた。自動車航送に係る運賃補助の実施台数は前年度65台、今年度は82台であった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	運賃補助によって宮古島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		97.50%	88.30%	96.55	
			目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	利用者へのアンケートの結果、96.55%の島民が宮古島市へ移動しやすい環境の構築が図られたと回答し、成果目標を達成した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	前年度に比べて利用台数は増えているが、アンケート記入者の中での新規利用者が1人だけであった。 今後は新規利用者を増やしたい。	住民全体へ、本事業の利便性の周知を図る工夫が必要である。
	今後の取り組み方針	
<p>村のホームページは令和3年4月にリニューアルして以前より見やすいサイトとなっているため、トップページの目立つ場所へ定期的に掲載する。 また、自治会の掲示板への掲示以外に、島民が多く集まる商店等に掲示をお願いし、本事業の利便性の周知を図る。 なお、12月には新造船フェリーにが就航予定であるため、就航に向けて本事業もPRしていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,144	1,144	915	229	0



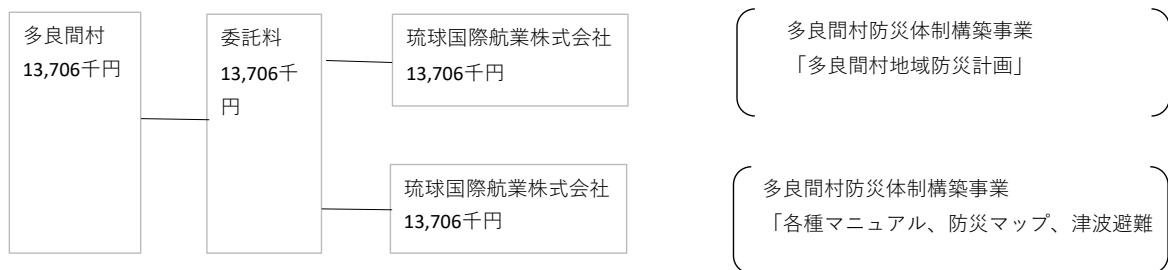
資金の 使途の 流れ 点検 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、航路事業者が1事業者しかいないため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○実績の状況に応じ年度内で減額を行うなど、事業内容に見合った予算規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○利用者も一定の負担をしており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実績報告時において支出等に関する書類により確認適正であった。

市町村名	多良間村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	多良間村防災体制構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-I	
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	地域防災計画に基づき、職員向けの初動マニュアルの作成を行うとともに、地域防災計画の作成過程で整理した災害情報を基に、現行の防災マップ等の見直しを行うなど。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,100				
		(b) 予算現額	13,706				
		(c) 増減額(b-a)	1,606				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	13,706				
	B. 執行済額		13,706				
	うち交付金充当額		10,964				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初、12,100千円を予定していたが、「本部事務局マニュアル作成」を追加する為、9月補正で本部事務局マニュアル作成の為の(1)作成方針の検討、(2)本部事務局マニュアル作成に必要な人件費及び経費として1,606千円を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・地域防災計画の見直し	目標	()	(更新)	()	()	
		実績		更新			
	・職員初動マニュアルの見直し	目標	()	(更新)	()	()	
		実績		更新			
	・津波避難計画の作成	目標	()	(作成)	()	()	
		実績		作成			
	・防災マップの作成	目標	()	(作成)	()	()	
		実績		作成			
・避難所運営マニュアルの作成	目標	()	(作成)	()	()		
	実績		作成				
・本部事務局マニュアルの作成	目標	()	(作成)	()	()		
	実績		作成				
達成状況説明	多良間村地域防災計画、職員初動マニュアルの更新。津波避難計画、防災マップ、避難所運営マニュアル、本部事務局マニュアル作成を計画どおり完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)
	地域防災計画・職員初動マニュアル・津波避難計画・防災マップ・避難所運営マニュアル・本部事務局マニュアルの策定完了。	目標	()	()	(策定)	()	()
		実績			策定完了		
	【R3成果目標】 避難訓練参加者(年1回)の満足度 (安全に避難・誘導できたと答えた割合)	目標	()	()	()	()	90%以上
		実績					
進捗状況説明	策定した計画、マニュアル等を活用し避難訓練をR3年度実施する予定。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 近年、大型化している台風等の風水害への対応に対し、より円滑な対応で取り組めるよう計画に基づいた各種マニュアルや防災マップを作成した。今後は作成した多良間村地域防災計画やマニュアルを生かして、風水害等への体制づくりを図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 策定した多良間村地域防災計画や各種マニュアルを生かすためにも、村職員の理解度を高めるための庁内勉強会を行う必要がある。 防災マップを作成した事により多良間村地域防災計画や各種マニュアル、防災マップを活用した避難訓練を実施することにより村民の防災意識の向上を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 多良間村地域防災計画、各種マニュアルについて、国や沖縄県の上位計画や関連計画、各種施策の状況を把握し、適宜修正を行う。 策定した多良間村地域防災計画や各種マニュアルについて、村職員の庁内勉強会を行う。 避難訓練を実施する際には各種マニュアルや、防災マップを活用して行い住民の防災意識の向上を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
13,706	13,706	10,964	2,742	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額なく、適正な予算規模と考えられる。 ― ○費目・用途については、実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	